平成 24 年４月 16 日

各　　位

会 社 名　林兼産業株式会社
代表者名　取締役社長　熊山 忠和
（コード番号　2286　東証第一部）
問合せ先　管理本部総務部長　松尾 和成
（ＴＥＬ．　083 － 266 － 0210）

事業の一部廃止に伴う固定資産廃棄損等の計上ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年３月期において、下記のとおり特別損失を計上する必要が生じましたので、お知らせいたします。

記

１．特別損失の内容

（１）下関飼料工場での畜産用飼料の製造事業廃止に伴う固定資産廃棄損等

昨今の畜産用飼料業界を取り巻く環境は厳しく、当社下関飼料工場（山口県下関市）での畜産用飼料の生産数量は年々減少し、不採算の続く厳しい状況にあります。

当社においては、畜産用飼料の事業改善について検討を重ねた結果、将来においても収益の改善が望めないものと判断し、平成 24 年６月を目処に下関飼料工場での畜産用飼料の製造事業を廃止することといたしました。

つきましては、廃止事業に係る設備等の資産につき、連結および個別決算において特別損失（固定資産廃棄損ほか）345 百万円を計上いたします。

今後、当社飼料事業部においては、養魚用飼料の製造販売に経営資源を集中させることで、収益体制の再構築に取り組むことといたします。なお、お客様への畜産用飼料の供給は、他社への製造委託で対応し、畜産用飼料の販売を継続いたします。

（２）飼料事業の取引先に対する貸倒引当金

水・畜産業界では、長引く景気低迷等の影響により販売不振が続き、当事業年度においては販売価格の下落および原材料価格の上昇が顕著となりました。当社においては、回収に懸念のある取引先に対して翌事業年度以降の資金の回収見込みの検討を行い、飼料事業の取引先の債権に対して連結決算において 776 百万円、個別決算において 918 百万円の貸倒引当金の追加計上を行います。

（３）減損損失

当社が保有する固定資産（茨城県龍ヶ崎市、土地・建物ほか）につきまして、時価が著しく下落していることが認められるため、連結および個別決算において減損損失 90 百万円を計上いたします。

（４）ゴルフ会員権評価損

当社が保有するゴルフ会員権のうち、時価が著しく下落したものにつきまして、連結決算において 20 百万円、個別決算において 15 百万円のゴルフ会員権評価損を計上いたします。

２．今後の見通し

平成 24 年３月期の業績見通しにつきましては現在集計中であります。業績予想につきましては判明次第別途お知らせいたします。

以上